

令和 8 年度 第 1 回西成区区政会議 会議録

1 開催日時 令和 8 年 7 月 21 日（火曜日）14 時から 16 時まで

2 開催場所 西成区民センター ホール

3 出席者の氏名

【区政会議委員】

小林 大悟 議長、塩田 亨 副議長、浅野 京子 委員、植月 智子 委員、上村 良次 委員、奥野 喜与久 委員、古志 武彦 委員、近藤 恵策 委員、酒井 春美 委員、高田 雅人 委員、谷崎 信子 委員、中島 由美 委員、藤田 富子 委員、宮本 浩 委員、村井 康夫 委員、山上 博朗 委員、山本 亜紀子 委員、横谷 和彦 委員

【市会議員】

山口 悟朗 市会議員

【西成区役所】

稲嶺 一夫（区長）、三原 桃子（副区長）、得能 邦彦（総務課長）、式地 光雄（総合企画課長）、伊東 玄規（まちづくり推進担当課長）、宇野 新之祐（市民協働課長）、木内 剛（地域支援担当課長）、生駒 莊太郎（窓口サービス課長）、東尾 雅行（保険年金担当課長）、高橋 良尚（保健福祉課長）、赤銅 秀規（生活援助担当課長）、澤井 睦（福祉援助担当課長）、小玉 康志（分館担当課長）、横山 伸征（福祉担当課長）、五條 喜一郎（子育て支援担当課長）、北野 陽一（保健担当課長）、田中 さおり（保健主幹）、秋山 暁子（総合企画課区政推進担当課長代理）

4 委員に意見を求めた事項

令和 7 年度西成区運営方針の自己評価及び令和 8 年度西成区運営方針について

5 議事内容

【秋山総合企画課区政推進担当課長代理】

それでは、定刻でございますので、ただいまより令和 8 年度第 1 回西成区区政会議を開催いたします。

本日ご出席の皆様方におかれましては、お忙しい中ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

私は、本日の司会を務めます西成区役所総合企画課の秋山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、まず会議に先立ちまして、会議資料の確認をさせていただきます。

まず1枚目、次第、令和8年度第1回西成区区政会議、次に西成区区政会議委員名簿、次に西成区役所職員名簿、次に資料1令和7年度運営方針自己評価、次に資料2令和7年度運営方針説明資料（自己評価について）、次に資料3令和8年度運営方針、次に資料4令和8年度運営方針説明資料（具体的取組について）、次に資料5令和8年度西成区区政会議開催予定、次に令和8年度第2回西成区区政会議日程調整票、次に意見票、次に（参考）第3回全体会での委員からのご意見・質問と区の考え方。

以上でございますが、不足等がございましたら挙手をお願いしたいと思います。

よろしいでしょうか。

確認事項ですが、本日の会議におきましては、条例で定める委員定数の2分の1以上の出席をいただいております、開催要件を満たしています。

また、会議は公開となっておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお、本日、傍聴者は2名です。

また、本日、報道機関の取材はございません。

それでは、開会に当たりまして、西成区長の稲嶺よりご挨拶を申し上げます。

【稲嶺区長】

皆様、こんにちは。西成区長の稲嶺でございます。

本日は、大変お忙しい中、また暑い中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

本来でしたら6月26日に開催予定だったのですが、当日、防災気象情報レベル4大雨危険警報が出ているということもございまして、やむなく中止という形になりまして、再度日程調整の上、本日を迎えることとなりました。

今回は、全体会の後に分科会を設けまして、その後また全体会ということで、進行の仕方が少し変わっております。皆様方からいろんなご意見を頂戴しながら、少しでも皆様方がご意見を出していただきやすいような形ということで今回改めております。初めての試みということでもございますので、進行上なかなかスムーズにいかない場面もあろうかと思っておりますけれども、こういった経験を踏まえましてよりよいものに変えていきたいというふうにも事務局思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

忌憚のないご意見頂戴しながら区政運営を進めてまいりたいというふうに思っておりますので、今日は暑い中ではございますが、また熱い議論、ご意見頂戴できたらというふうに思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【秋山総合企画課区政推進担当課長代理】

それでは、次に委員の皆様のご紹介でございますが、配付しております名簿にてご確認をいただきますようお願いいたします。

なお、本日は、西川委員、山村委員、吉田委員、井口委員、上田委員、清水委員、早雲委員、芝辻委員、鈴木委員におかれましては、所要のためご欠席となっております。

また、南委員と高橋委員につきましては、ちょっと遅れられているようですのでご報告さ

させていただきます。

続きまして、本日、オブザーバーとしてご出席いただいております市会議員の方をご紹介しますさせていただきます。

山口議員でございます。

【山口 市会議員】

よろしくお願いします。

【秋山総合企画課区政推進担当課長代理】

それでは、次に区役所職員の紹介でございますが、職員につきましても配付しております名簿をご確認ください。

なお、保健福祉部長の原と医務主幹の國吉につきましては、所要のため欠席しております。それでは、早速でございますが、議事進行につきましては議長にお任せしたいと思います。小林議長、よろしくお願いいたします。

【小林議長】

よろしくお願いいたします。

それでは、早速進めさせていただきます。

まず、本日の流れでございますが、この後、全体会にて 15 分ほど議題の説明をします。次に、分科会ごとに分かれて、それぞれの経営課題について各事業の説明とグループ討議を行います。これが 1 時間程度としております。その後、再びこの場に集まっていただきまして全体での議論を 30 分程度予定しております。

それでは、議題、令和 7 年度西成区運営方針の自己評価及び令和 8 年度西成区運営方針につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

【式地総合企画課長】

皆さん、こんにちは。総合企画課長の式地と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、私のほうから令和 7 年度の西成区運営方針の自己評価と令和 8 年度運営方針についてご説明をさせていただきたいと思います。

着座にて失礼いたします。

それでは、まず令和 7 年度西成区の運営方針自己評価についてということで、資料 1 の令和 7 年度西成区運営方針をご覧くださいと思います。

令和 7 年度の運営方針では、重点的に取り組む経営課題を掲げまして取組を進めてまいりました。各取組の詳細につきましては、この後の分科会のほうで説明させていただきたいと思いますので、私からは各経営課題に設定しておりますその成果の進捗を示しますアウトカム指標の達成状況と全体の自己評価と今後の方向性について説明をさせていただきたいと思います。

まず、経営課題ごとのアウトカム指標の達成状況でございますけれども、経営課題1の指標については3つございます。

1つ目は、小学校6年生と中学3年生を対象とした、学校に行くのは楽しいと思うかという質問への肯定的回答割合を6年度実績以上に維持すること、2つ目が、中学校3年生チャレンジテストの西成区平均点の大阪市比を前年度実績以上とすること、3つ目が、プレーパーク事業の1日当たり平均来場者数を120人以上とすることとしておりましたけれども、結果としていずれも目標を下回り、未達成となっている状況でございます。

なお、2つ目のチャレンジテストでは、全3教科中の2教科で前年度を上回りましたけれども、未達成の扱いとしているところでございます。

続きまして、次ページをご覧くださいと思います。

次に、経営課題2の指標ですが、2つございます。

1つ目が、区のホームページ「観光・歴史」の閲覧数を前年度以上とすること、2つ目が、地域福祉フォーラム参加者アンケートで身近な地域での見守りや助け合いなどつながりづくりに役に立つと思うと答える割合を、令和9年度までに89%にする中で令和7年度は74%を目標としておりました。このうち、1つ目のホームページ閲覧数は前年度を下回って未達成となっております。

続きまして、経営課題3のほうの指標は3つございます。

1つ目が、地域防災訓練の全地域での実施、2つ目が、街頭犯罪発生件数を前年度より減少させること、3つ目が、西成区の結核罹患率を令和9年度までに45以下とし、令和7年度は69を目標とすることとしておりました。

結果として、2つ目の街頭犯罪は前年より70件増加し未達成、3つ目の結核罹患率は前年度より改善したものの目標に届かず未達成となっております。

アウトカム指標の達成状況は以上でございます。

続きまして、次ページ以降にその自己評価と今後の方向性について記載しておりますのでご覧くださいと思います。

まず、自己評価ですけれども、経営課題1の子どもの夢がひろがるまちでは、プレーパーク事業とか基礎学力アップ事業などの各種事業の参加者及び保護者へのアンケートにおいて、それぞれ事業の成果が伺えるような回答の割合が多く、また、中学3年のチャレンジテストでは、先ほどのアウトカム指標の達成状況は未達成となりましたけれども、大阪市の平均点には近づきつつある状態にあるということや、こども生活・まなびサポート事業でも、登校支援などによりこちらも不登校在籍率が市全体の比率に近づきつつあるなど、一定の成果、改善が見られたと考えてございます。

それと、学習姿勢向上の取組では、担任と支援員との役割分担を行いまして授業に集中できる環境を整えるとともに、幼稚園や保育所と小学校生活とのギャップ、いわゆる小1プログラムが解消された児童が増加しておりまして、学習姿勢の定着も進んでございます。

その他様々な取組を進めておりますが、西成区は依然として学力とか学校生活面に課題を抱えておりまして、引き続き改善しながら取組を進めていく必要がございます。

次に、経営課題2の人と人がつながりにぎわうまちでは、文化観光振興事業において新宮エリアブランディングや現代芸術振興、大阪フィルハーモニー交響楽団との連携による出前事業とかロビーコンサートなどの西成区の魅力を体感いただく機会を提供できたというふうに考えています。

一方で、アウトカム指標である区のホームページの「観光・歴史」に対する閲覧数が前年度を下回る結果となるなど、引き続き区の魅力発信に資する取組の改善が必要と考えております。

地域コミュニティ支援事業では、各種イベントにおいて地域活動協議会とか町会加入促進に向けた働きかけを行うとともに、地域活動協議会の取組を取材し、区のホームページやSNSを通じて発信を行い、地域活動について知ってもらうきっかけづくりを行ってまいりました。

このほか、緑化推進事業での地域ボランティアの参画・協働による地域活動や地域福祉推進事業では、多文化共生をテーマとした地域福祉フォーラム、それからボッチャ大会などの開催など、地域活動への参加促進とか世代間の地域間交流につなげることができました。

経営課題3、みんなが安心して暮らせるまちでは、各地域での防災訓練への支援をはじめ、地域防災リーダーと防災協力事業所との合同講習会などの実施など連携強化の推進、また、警察署と連携した新小学校1年生への防犯・交通安全教室、それとか特殊詐欺、自転車盗難防止などの啓発活動を実施しまして地域住民の防犯意識の向上につなげてきました。

一方で、区内の街頭犯罪件数は令和7年度に再び増加に転じまして、また、自転車盗が約8割を占めているということも、自転車の施錠とかツーロックの必要性などについて、近年増加してございます外国人住民への周知、意識づけを行うことも必要であると考えてございます。

また、不法投棄等の課題につきましては、これまで重点的に実施してきたあいりん地域だけでなく、西成区全域についてもこれまでの取組で培った枠組みとか手法を活用しましてそれぞれ課題を改善させることができたというふうに考えてございます。

また、西成区の結核罹患率については、先ほどのアウトカム指標では未達成となりましたけれども、令和7年度は71.7と昨年度より減少、好転しており、また、特区構想の取組当初に比べれば6割以上減少しているということからも、これまでの結核対策の取組は有効であるという評価をしてございます。しかしながら、西成区の結核罹患率というのは大阪市の中でも突出して高いという状況は変わらず、今後も引き続き結核健診の重要性を広く周知いたしまして支援体制を維持、堅持していくという必要があると考えてございます。

最後に今後の方針でございますが、いずれも引き続きの取組としまして、経営課題1については大阪市平均の学力、不登校の実質ゼロを目指しまして、それぞれに応じた学習支援や不登校対策を実施するとともに、子どもたちの学習習慣の定着や学力向上等に向け、子育て、教育環境の充実を図ってまいりたいと考えております。

経営課題2につきましては、西成区の各種資源を生かしたにぎわいの創出と情報発信の強化、それから地域コミュニティの活性化における積極的な情報発信を継続しまして、住民の

活動参加や担い手の確保につなげていくとともに、身近な地域での見守りとか助け合いなどのつながりづくりに向けた取組を進め、イメージアップを図っていきたいと考えています。

最後に経営課題3のみんなが安心して暮らせるまちにつきましては、地域防犯、防災や犯罪の抑制に向けて地域とか警察署と連携した効果的な対策を検討し、実施してまいります。また、不法投棄対策や結核対策においては、あいりん地域だけでなく、区全体でのさらなる低減に向け引き続き対策を進めていきたいと考えております。

なお、それぞれの経営課題の施策展開に当たりましては、外国につながる住民を含めた多様な地域住民が連携する多文化共生の視点も踏まえて進めていきたいというふうに考えてございます。

7年度については以上でございます。

次に、資料3の令和8年度西成区運営方針をご覧くださいと思います。

資料の最上段の目標、使命及び運営の基本的な考え方にもあるように、昨年度は区制100周年を迎えまして、今年度は次の100周年に向け新たなスタート、リボーンを切る年でありまして、そのスタートを切るに当たりまして、人情のまち西成区という強みを生かした人と人とのつながりを大切に、みんなが笑顔で暮らしやすいまちを目指してまいります。

所属運営の基本的な考え方につきましては、昨年度同様3本柱、1つ目が子どもの夢がひろがるまち、2つ目が人と人がつながりにぎわうまち、3つ目がみんなが安心して暮らせるまちを重点的に取り組む経営課題の柱といたしまして施策を進めていくこととしておりまして、施策展開に当たっては外国につながる住民を含めた多様な地域住民が連携する多文化共生の視点も踏まえて進めてまいります。

なお、以後の重点的に取り組む経営課題に記載の各経営課題に対する課題認識とか評価指標等につきましては、それぞれ昨年度からの継続的な取組であることから昨年度と同様となっておりますので、詳細は割愛させていただきたいと思います。

私からは以上です。

【小林議長】

ありがとうございます。

それでは分科会に移ります。

皆様、資料をお持ちの上、移動をお願いいたします。

にぎわい分科会がこちらで、こども分科会がこちらで、この真後ろが安全あんしん分科会です。お手元の資料のほうに皆さんの分科会が書かれております。

なお、市会議員の方は1つの分科会をご覧くださいでも各分科会を巡回していただいても構いません。

それでは、皆さん、お荷物持って移動のほうよろしく願います。

<分科会のため会議中断>

<会議再開>

【小林議長】

皆さん、お待たせいたしました。

それでは、全体会を再開させていただきます。

分科会ごとに議論内容をご報告いただき、その後、委員の皆様にご意見をいただきたいと思いをします。

なお、ご発言の際は、なるべくゆっくり、はっきりとマイクを使ってお話しいただけますようよろしくお願いいたします。

まずはこども分科会からお願いいたします。

【浅野委員】

皆さん、こんにちは、こども分科会の浅野でございます。

それでは、こども分科会での議論内容についてご報告させていただきます。

速いですね。すみません、ゆっくりいきます。

こども分科会では、経営課題1、子どもの夢がひろがるまちの具体取組である様々な事業について意見交換をいたしました。

着座にてご説明いたします。

それで、全体に西成区ではまず学力向上の取組がたくさん行われていてとてもよいという意見がございました。学力がなかなか苦手な子から、もう少し発展的に伸ばしてあげたいというようなところまでやっているというのはそう他区でもないんじゃないかというようなお声がありました。ただ、発展型の学習支援事業につきましては、試験が一応あって、よりレベルアップしたい子のためということなので、その試験が一部ハードルになっているところもあるんじゃないかと、お友達と一緒に受けたいと思って受けても自分だけが失敗したら嫌だからやめておくというような、そういう声もあるというのはあったんですが、そこをチャレンジして受けていただいたらいいんじゃないかなというような声もありました。

また、様々な事業につきまして、チラシが保護者に届いていない部分もあるんじゃないかと。紙ベースで渡されたら、お子さんによっては家で、いただいた、学校でもらったりしたチラシを出さない子がいるというような声もあって、何かしらデータ、小学校、中学校、ミマモルメというような、そういう学校との連絡するようなものもあるんですが、そういったようなもの、あるいは何か、データといいますか、紙以外の方法で情報が共有できればいいんじゃないかというようなお声もありました。

また、こういった事業を学校の教員、先生方もそれぞれの子どもたちにこの事業があるからというようなことで声がけをすれば効果的じゃないかという声もありました。ただ、学校さんには、そういうようなことも既にやっていて、先生方も協力的にやっていただいている

ようだというようなお話もありました。

あとは、学力向上のいろんな事業もあるんですが、プレーパーク事業のような生きる力を育むような、子どもにとって体験というのは非常に有効な経験になっていきますので、そういったようなもの、西成区でもやっていると、職業体験ということで地域の会社の方々とか事業者さんと組んでやっているというのがあるということです、それで子どもたちが大いに楽しんで刺激を受けたというのもあるということなので、そういったようなものもどんどんPR、アピールしていけばいいんじゃないかというような声がありました。

いろんな事業を本当にやっていただいているので、メリハリつけてアピールしてもらって、子どもを持っている保護者の方がこれ行ってみようよというように子どもに声をかけられたりとかしたらどんどん広がるんじゃないかというような、そんな意見が出ていました。

【小林議長】

ありがとうございます。

ただいまのこども分科会の報告につきまして、委員の皆様、ご意見、ご質問ございますでしょうか。いかがでしょうか。

なかなかぱっと出にくいですね。

この資料2に書いていると思うんですけども、西成区、先ほど浅野委員からも報告があったとおり、ほかの区にはない子どもに関する事業というのが実はめちゃくちゃ実施されているんです。例えば皆様も実感しているとおり、外国籍の方もたくさん今増えてきている中で、そういった子どもを対象にした事業であったり、いわゆる小1プロブレムでしたっけ、じっと座って授業を聞くことがなかなかまだ習慣づいていない子どもたちのためのサポートする事業があたりとかしておりまして、なかなか子育てしていなかったら見えてこないところなんですけれども、ここもかなりほかの区に誇れるポイントかなと思っておりまして、ぜひ全然率直なご質問であたりとかも聞いていただければ、役所の方もたくさんいらっしゃると思いますので答えていただけると思うので、ぜひ何かしらご意見をいただければと思います。

はい、上村委員、どうぞ。マイクを担当がお持ちします。

【上村委員】

浅野委員のほうからすばらしくまとめて発表されましたんでね、次、私もどきどきしているんです。

すみません、全然違う話なんですけど、先日、私、企業の方の企業支援やと考えているんです。それで、中小企業家同友会なんかが子どもしごと博物館とかされているんですが。実は先日、ある相談役の方の講演を聞きまして、その方は5歳のときに国鉄、当時国鉄なんです、その方85 いってないかなんですけど。蒸気機関車ありますね、そこに乗せてもらったらしいです。そしてそのときにひも引っ張ったらポーと音がして動き出したんです。それが

5歳の子どもにとって物すごく印象にあって、それがものづくりにものすごく子どものときから取り組みはったんですね。それで特許だけでも200件以上取ってはるんです。自分はエジソンになると思いはったらしいんです、そのときに。それで思ったのは、それで私企業支援というのをお話ししたんですが、いろんな企業でも体験させるためにそういうのを自主的にされているところもあれば教えに行ってはる企業もあるんです。例えば、今日、西成産業会の方来られていないんですが、私ども感動するようなそういうものづくりの現場ってありまして、何かそういうことを小学校とかに見ることができれば、ものづくりに興味を持って視野が広がっていくのかなという気がしまして、何かそういう仕組みができないかなと。しごと博物館はあるんですけども、あれは地域の方結構ばりばりやっているんですけども、分かりやすく短時間にできるような仕組みになっているんで、感動までいくのかなというちょっと違うような感じがするんです。何かそういうことを検討していくとありがたいなという気がしました。すみません、全然違う話で。

【小林議長】

ありがとうございます。

今のご意見でも構いませんし、新しい質問でも構いませんが、いかがでしょうか。

また全体でもこの時間つくりますので、終わった後。次に進めさせていただきます。

早速ですが、次、にぎわい分科会、お願いいたします。

【上村委員】

一言で言いますと非常に活発に意見が出てどうまとめていいか分からない。それで、結構西成区の文化観光振興事業のところに意見が、いろんな意見交換集中しました。

1つ抜き取りでいきますと、話を、新今宮ワンダーランドについてありましてね、これが毎年開催されて区のホームページで一部周知されているんですが民間主体のために直接実施情報というのは限られていますということで、これはこれからも活性化してほしいなというのと情報発信をもっとしてほしいという意見がありました。

それから、この区役所周辺というのは、この地域ですね、この地域というのは区役所と区民センター、図書館、さらに大阪フィルハーモニー等が集中している。しかも地下鉄に近いというので、大阪市24区の中では一番魅力的な地域なんです。しかもこの区民センターでは関西周辺から集まるような、時には全国から集まるような民間主体のイベントがありまして、だからここを使って情報発信すればどうかというような意見等がありました。

それから、新今宮の現状というのは、外国人の増加や治安の改善が随分よくなったという変化があるんで、この地域の魅力や安全性というものをSNSであちこち積極的に発信していくのが必要じゃないかという意見がありました。

あと、住みます芸人の起用に関してもいろんな声があって、より地域に強く訴求できるような人選を検討してほしいという声もありました。

それから、サービスハブ運営事業の就労創出件数の成績について、これは目標数値をはる

かに上回る件数があがって非常にいいことなのですが、そうしたことはもっとやってもらいたらいなというお話がありました。

それから、北津守のほうで町会が平成6年に大阪市が掲げる外国人と地域との交流を図れるような、極端には町会に入ってもらい、になるような仕組みをこさえたんですが、あまりそれからあと独自事業では動いていないんですね。そういったものもこれから区役所のほうでいろいろ取り組んでいきたいというお話がありました。実は総務省の統計では西成区というのは全国で11番目に外国人が多い、割合が多い地域になっているんですよ。だからこれらの多文化共生という、共生といいますか交流といいますか、にとって非常に大きな問題であるなという意見もありました。

それから、区の広報紙、にしなり我が町、あれが届いていない、知らないという人も多いんで、それをもっといろんなツールを使って押し広めたらどうかというお話もあり、区役所のほうでもいろいろ検討されているようですので、ぜひこれは続けていったらいい、強化してほしいなと思います。

そのほかにもたくさんの意見が出たんですが、時間の関係でこれで終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

【小林議長】

ありがとうございます。

ただいまのにぎわい分科会の報告につきまして、ご意見、ご質問いかがでしょうか。

横谷委員、いかがですか。

全然住みます芸人の話でも構いませんので、ぜひ皆さんご意見いただければ。

じゃ、もう浮いた分は最後に回したいと思います。なので一旦次に回させていただきます。

最後に安全あんしん分科会、お願いいたします。

【横谷委員】

すみません、安全あんしん分科会でございます。横谷でございます。議論内容を報告させていただきます。

安全あんしん分科会では、経営課題3、みんなが安心して暮らせるまちの具体的施策、取組である地域防災活動事業、防犯対策事業、自転車等安全利用啓発事業、それからあいりん地域の環境整備事業、そして結核対策事業、この6つについて具体的に説明を受けながら議論させていただきました。

一番議論が出た、意見が出たのは自転車等安全利用啓発事業でございまして、特に鶴見橋商店街、それから勝間街道の辺り、ものすごい勢いがすごい自転車が大量に走ると、非常に危険だということで何とかならんかという声がありました。できれば警察力を借りて具体的な指導をしてもらって、ちょっとあそこの危険度を下げたい、下げてもらいたいという意見がありまして、区役所のほうからは地域の日本語学校とか外国人が多くいる事業所の協力を得ながら啓発活動を進めていきたいというふうに考えていると、それから警察等との連

携も強く図っていききたいというふうには考えておると、そういうお答えをいただいたところでございます。

あとは、地域防災活動事業については、よく防災訓練とかそういうのが各地域で実施されているんですけども、その各地域の訓練に外国人の方が参加されてんのが少ないんじゃないかというような指摘があり、ここについても外国人を雇っている事業所などが協力事業所となって組織とつながっていくとか、そういう安全安心を届けていくというような取組を進めているという回答がありました。

もう一つは、防犯対策事業について、防犯カメラの設置がちょっと区内では少ないのではないかと、予算取ってもらってやっているんですけども、もうちょっと設置の補助率を上げるなり、あるいは設置台数の上限、今8台ということらしいんですけども、それをもうちょっと予算を取って多めに設置するような、そういう施策を打ってもらいたいという指摘があり、それについては区役所のほうも努力をしていくというような回答をいただいたところでございます。

この3つの施策について議論が集中して、ほかの事業については議論ができないまま終わったんですけども、住民にとって関心が強い3つの課題ございましたのでよかったのかなというふうに思っております。

以上です。

【小林議長】

ありがとうございます。

ただいまの安全あんしん分科会の報告につきましてご質問、ご意見ございませんでしょうか。

私の家が勝間街道すぐなんですけれども、出勤するときに勝間街道を越えないといけないんですけれども、朝方がもうすごい数の外国人の自転車が通っていて渡れないということが起きていたりするのですごいタイムリーな話やなと思います。

いかがですか。全然逆に皆さんの住んでいる地域でもご意見等でも構いませんし。

出ないものですね。

はい、どうぞ。

【上村委員】

ほかの分科会のこと、申し訳ありません。防災訓練なんですけれども、地域の方に聞きましたら防災訓練やっていることすら知らなかったという声があるんですよ。全地域でやる、1つの目標としてそれはそれでいいんですけれども、中に知られていない場合、そういうのをどうするかなとかですかね、何かもっとほかのところ、目標を設定する、例えば地域防災計画というのをつくるといふ、自主的につくることになっているんですが、だからそういうのをつくっていくとか、そういうのを目標に入れるのも1つ方法としてあるのかな、みんなで考えることになりますね。何かその訓練の数はいいんですけれども中身をどうするの

かがちょっと気になりました。すみません。

【小林議長】

ありがとうございます。

どなたかお答えできる方いらっしゃいますでしょうか。

【横谷委員】

答える立場じゃないんですけれども、そういう話もちょっと出たのは出たんです。ただ、防災訓練の施策の目的というのが、1つは地震とか災害起こったときに区役所の職員の皆さんが出張ってくるわけにいかない事態、時期とか、夜中とかもあるので、基本的にはその地域の防災リーダーの方々が安全に避難所を設置する。設置するというのが訓練なんだという、そういう観点からすると、それに地域の人ができるだけ参加するというのは2次的というか、一番大事なのは安全に避難所を設置するという、その訓練なんですよ。というような指摘、説明もありまして、あ、なるほどな。ただ、ご指摘のように、せっかくの機会なんだから、それをちゃんと活用して地域の人々にちゃんと集まってもらうというような形でやっていくのは大事なことで、それは各地域で考えていくということになるのかなと思います。すみません。

【小林議長】

ありがとうございます。

ほかご意見ございませんでしょうか。

それでは、全体通して、皆様、ご意見であったりご質問等をしていただければと思います。

加えて、今回初めてのやり方なので、それに対するご意見等も、この場でも構いませんし、していただければなというふうに思います。

【植月委員】

分科会の時間をもう少し長く取ってもいいんじゃないですか。

【小林議長】

それは思っています。いい意見ですね。マイク回してもらってください。

【植月委員】

分科会の時間をもう少し長く取っていただいたほうがいいかなと思いました。

【小林議長】

これに関して皆さんいかがでしょうかね。多分うちももっといこうと思えばどんといけたと。短く感じられたんですかね。皆さんどうですかね。ちょうどよかった等、何かちょうど

よかったりとかご意見あればもし言っていただければと思うんですけども。皆さんいいですかね、総意としてちょっと短いということでもいいですか。はい。ということなので、またちょっとこのあたり次回のときに調整、設計していただければと思います。ありがとうございます。

【上村委員】

議事録を取らないというのは自由に発言できるんでこの点はよかったという気がします。

【小林議長】

すみません。いつもユーチューブにも流れるからうかつなことは言えなそうというところがある中で、はい、議事録、え、いつも分科会は議事録なかったでしたっけ。映像なかったですね。はい、なので分科会の強みですよ、そこが。ありがとうございます。

ほかありますか。何かあるかな。

にぎわいに関して私参加していたんですけども、私からなんですけれども、すごくちょっと嫌な質問になるかもしれないんですけども、今、西成区大分、ずっと住んでらっしゃる方であればきれいになってきたという実感を持ってきてという方多いと思うんです。新今宮駅前の辺りとかかなり昔と比べるときれいになっていますし、あいりんセンターが解体されるということに対してこれからが楽しみだという意見も多くの方から聞いているんですけども、何か区としてしゅっとした路線でいくのか、それとも人情な路線でいくのかみたいなのがちょっと分からないなと思っている中で、アンバサダーに赤井さんがついていて、この前も、100周年のときとかも何か西成のちょっとしたスラム話みたいなんをされていたと記憶していて、どっちの方向でにぎわいつくるのかなみたいなんは個人的には気になっていまして、委員の皆様としてもどういうふうになってほしいみたいなご意見があれば多分今なら1つの意見として言えると思うので、皆さんご意見いかがですか。

村井委員、お願いします。

【村井委員】

すみません、村井でございます。

私があいりん周辺でございますもので、商店街でございますものですからちょっと申し上げたいと思うのは、今出ましたみたいに、先ほど報告ありましたみたいに、清掃活動、地域がきれいになるということは非常に重要な、今は私たちの地域がたくさんの方の外国人の方も含めてお越しをいただいている大きな要因でしてね。安心、安全、きれいということは非常に重要なことだと思っています。今、きれいにさせていただいているんですけども、できれば特掃の方々がああやって、あれ1日に2回か3回ぐらい回っておられているんですかな。実は昔から僕ちょっとそのこと言っているんですけども、大阪市の清掃のほうの担当の、あちこち交差点とか清掃してくれているんですよ、ちゃんと。その大阪市の担当の人たちって作業服ちゃんと着てはるんです。たしかいつときピンク色か何かの作業服着てはった

かな、でやったはったんですね。特掃か何かがいつときからああやってベストを、安全のこともあってベストを着ていただくという形になって、彼らの安全ということを持続することになったんですけれども、ただ、あとはリヤカー引いていただいごみを集積するのを大きなブルーのでっかい籠を引っ張って歩いてくるわけですね。うーん、もう一声何とかできひんかなと。昔ね、それこそ十何年前に、簡宿さんが安い宿ということの転換をし始めたときに、まだ年間で40万泊ぐらいしかなかった時代なんですけれども、そのときに簡宿さんの組合で宿泊をいただいている外国人の方にアンケートを取られたんですよ。アンケートも一番辛辣なそのアンケートの内容は、これ中国人の方だったらいいんですけれども、地下鉄動物園前の駅の改札出たときに強烈なトイレの臭いがした。それからそのまま階段を上がって外へ出た。出た途端にその周辺で立ちションをするおっさんを見たということが上がってあったんです。今もご存じのように動物園前の駅は完全に改修されましたからそんな臭いがしたりすることは一切ありません。非常にきれいに動物の絵をちゃんと描いていただいて、改札の出たところはちゃんと椅子を用意されてお座りいただくような形になりますし、今先ほどから言うていましたみたいに路面に関しては清掃の方々がきれいにしているのです。そんなことは、そんな十数年前のことは一切ないんですけれども。ただ申し上げたみたいに、できれば特掃の方々ももう少しどうかという形。やっぱり観光客にとってその地域のシーンとか見栄えというのは非常に重要な意味を持ちますので。

もう一点申しますと、新世界が良くなっていったのは、新世界がその要因はフェスティバルゲートだったんですね。フェスティバルゲートは3年で駄目になりましたけれども、あのフェスティバルゲートをつくったときに浪速区の自民党の市議員の方がおいでになりました。この方が強烈にお客さんの安心安全ということを確保せなあかんということを強烈におっしゃったんです。ですので、あのフェスティバルゲートを3年間やっている間ずっと、別に何もされないんですけれども、3人連れて制服を着た警備員の方がずっとフェスティバルゲートと新世界を回ってはったんですよ、定期的に。1時間に何遍か回っていたんです。それを見たお客さんが、これやったら安心、もし何かあったらこの人に何か言えばいいんだというふうなところがあれば、それでもってお客さんがどんどん入ることになって。

もうちょっと余計なこと言うと、そうやって若い新しい観光客が新世界に集まり始めたときに今度はどないなったか。これ僕いつも言うんですけれどもね、ジャンジャンまちの八重勝さんの前のご主人、二代目のご主人、そのご主人がおっしゃっていたのは、今までうちの店は西成周辺、あいりん周辺のおっちゃん連中は1回来たら4,000円飲んで食ってくれたと。それが1日に2回転したんですね。満杯になって。ところが観光客が入り始めたときに1人2,000円。食べはるのが2,000円の5回転した。大きな違いです。そういうようなことでどんどん若いお客さんが新世界の中に入ってきて新世界の雰囲気が全く変わった。それが今の新世界のにぎわいにつながっていることは事実ですね。その第一歩は今ほど言ったみたいにフェスティバルゲートをやったときにちゃんとその周辺をぐるぐる、別に何をするわけじゃないんですけれども、制服を着た警備員の方が回っていたということが一番の要因だったんですよ。そこからすると今、あんまり長いこと言っててあれですけど。もうちょっとね、

できれば。話戻します、特掃の方々のスタイルといいますか、見栄えをちょっと変えてほしい、そしたらもっとよくなると思っていますので、よろしくお願いいたします。

【小林議長】

ありがとうございます。

これに関して元指導員の横谷さんはご意見いかがですか。なし。

市の所管で多分区の方に言ってもあれなんでしょうけれども、この意見は私のほうから福祉局の方に伝えさせていただきますので、その際は西成区の方もちょっと後ろから押していただければと思います。よろしくお願いします。

ほかご意見いかがでしょうか。もう時間も迫ってきておりまして、あと1つぐらいご意見もらおうかなと思ったんですけども、せっかく来ていただいたので、まだご発言されていない方、近所に住んでいる方の声とかでも構いませんので言っていただければありがたいです。ないですかね。

はい、どうぞ。

【酒井委員】

今、村井会長の、小林さんがおっしゃったように、先ほどもお聞きしたんですが、建設局がとおっしゃったので、建設局はどちらになるんでしょうか。大阪市ですか。

【小林議長】

建設局は市ですね。

【酒井委員】

区役所さん、その下にいてはるんで、縦のつながりで西成区のことを上に上げていただけませんかと最初先ほどもお願いさせていただいたんですが、同じようにおっしゃっていますので、この意見、皆様の意見を、すみませんがよろしくお願いいたします。

【小林議長】

はい、何とぞよろしくお願いいたします。

よろしいですか。全体通して何か言い残したことはありませんかお一人ぐらい大丈夫ですが、大丈夫ですか。

本日の議題は以上となります。

次に、その他といたしまして事務局より何かありますでしょうか。

【式地総合企画課長】

ありがとうございました。

事務局からは、お手元の資料の区政会議の開催予定という資料をご覧いただきたいと思

います。資料にございますように、本日7月21日、第1回の全体会、それと分科会を開催させていただきました。令和7年度の運営方針の自己評価と、それと令和8年度運営方針についての確認をいただきました。またそれに対するご意見をいただきました。

次回は9月に開催を予定している第2回といたしまして、また同じように全体会、分科会という形式でさせていただきたいと思っております。ここでは、主な議題としては、今日確認いただきました令和8年度の運営方針につきましての取組状況というものの報告をさせていただきます。また、次年度に向けたということで、9年度の運営方針でありますとか予算要求に向けた意見聴取をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また、その後、12月に第3回としまして、こちらは全体会だけを想定しておりますけれども、9月に意見をいただいたものを基に令和9年度の運営方針の案でありますとか西成区の関連予算の案をお示しさせていただきたいと思っております。またそれを、ご意見をいただきましてその後、議会の報告、あるいは議会に向けての予算案の作成、成案の作成をさせていただいて、議決後、4月に改めまして令和9年度の運営方針とか予算の公表をさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私からは以上でございます。

【小林議長】

それでは、本日の区政会議の議事は以上でございます。

本日お越しの山口議員のほうから一言ご意見を賜りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【山口 市会議員】

それぞれの分科会に分かれていただきまして熱心にご議論いただきまして大変どうもありがとうございました。

6月26日は記録的な大雨で中止となりまして本日となったわけでしたがございましたけれども、今日のご議論いただいた内容を、皆様とともに西成区がよりよいまちにつながっていきよう一緒に取り組んでいけたらというふうに思っております。

梅雨も明けました。毎日本当に暑い日が続きますけれども、熱中症気をつけていただきまして、また、これから夏祭り等入っていきますので、くれぐれも皆様ご自愛いただきますようよろしくお願いいたします。

本日どうもありがとうございました。

【小林議長】

ありがとうございます。

皆様、長時間にわたりご協力いただきましてありがとうございました。

それでは事務局へお返しします。

お疲れさまです。

【秋山総合企画課区政推進担当課長代理】

小林議長、どうもありがとうございました。

委員の皆様もありがとうございました。

それでは、最後に私のほうから数点ご連絡させていただきます。

今回の議事録につきましては、おおむね 30 日後をめどに区のホームページに掲載し、公開する予定となっております。よろしくお願いいたします。

意見票につきましては、何かご意見がございましたら 7 月 30 日までにご提出いただきますようお願いいたします。

9 月開催予定の第 2 回西成区区政会議の日程調整票につきましても、7 月 30 日までにご提出いただきますようお願いいたします。

それでは、以上をもちまして令和 8 年度第 1 回西成区区政会議を終了いたします。

皆様、長時間にわたりご協力をいただきまして、ありがとうございました。